AI による概要

アーチェリー用具の老朽化や破損を見逃すと、発射時の破裂（空打ち状態）や破片の飛散など重大な事故につながります。**「矢（アロー）」「ストリング（弦）」「弓本体（リム・ハンドル）」の3つのパートに分けて、使用前に行うべき具体的な点検方法**をまとめました。

---

1. 矢（アロー）の点検【最重要】

矢は畳や地面への衝撃を直接受ける消耗品であり、最も事故につながりやすいパーツです。

- **曲げ・ねじりテスト（クラックの確認）.** Victory Archeryの安全ガイドでも推奨されているように、矢の両端（ポイント側とノック側）を持ち、自分や周囲の人から離した状態で軽くしならせます。ミシミシという異音がしたり、表面のささくれ・ひび割れ（クラック）が見えたりする場合は直ちに廃棄してください。 Victory Archery +2
- **打音チェック.** 矢を軽く床に落としたり、他の矢と軽く当てたりして音を聞きます。正常な矢は澄んだ高い音がしますが、内部剥離やポイントの接着不良がある場合は鈍い異音がします。 YouTube · ハスコ・ア… +1
- **ノックの亀裂と歪み.** ノックの溝が白化していたり、ヒビが入っていたりすると、リリース時に割れて「空打ち」と同じ状態になり大変危険です。また、シャフトを回転させてノックの先端がブレていないかも確認します。

2. ストリング（弦）の点検

ストリングの破断は、リムの破損や顔・腕への負傷に直結します。

- **原糸の毛羽立ち・切れ.** 弦全体の毛羽立ち（ワックス切れ）や、構成している細い糸が1本でも切れていないか目視と指の触感で確認します。
- **サービングの緩み・ズレ.** ノックを噛ませるセンターサービングや、リムの先端に引っ掛けるループ部分の糸が緩んだり擦り切れたりしていないかチェックします。
- **寿命の目安.** 見た目に異常がなくても、**約3,000〜4,000射**が交換の目安とされています。試合前や長期使用後は早めに交換しましょう。 official-dynasty.com +1

3. 弓本体（ハンドル・リム・ネジ類）の点検

振動や経年劣化により、パーツの緩みや金属疲労が蓄積します。

- **ネジ類の緩みと汚れ.** サイトマウント、プランジャー、スタビライザー、リムボルトなどのネジが緩んでいないか確認します。屋外での使用後は砂埃やアルミの削りかすがネジ穴に溜まりやすいため、定期的な清掃も重要です。
- **リムのねじれと表面の傷.** ストリングを張った状態で、上下のリムがねじれていないか（ストリングがリムの中心を通っているか）を確認します。また、表面の塗装割れや層間剥離がないかもチェックします。 YouTube · ハスコ・ア… +1